



認知症高齢者などへの見守りを

健康福祉課 高齢・障害係 ☎(25) 1186
 地域包括支援センター ☎(25) 1182

認知症とは

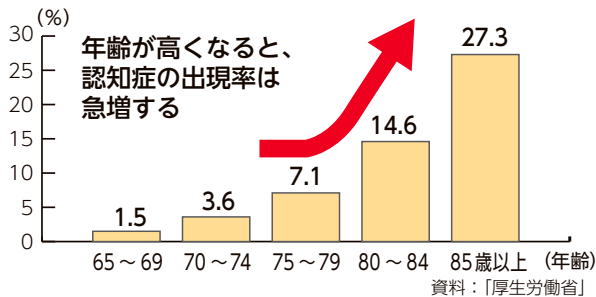
認知症は誰でもかかり得る脳の病気で、発症する最大の原因は加齢です。認知症の一步步手前の段階である軽度認知障害(MCI)の場合は、健全な状態に戻る可能性があります。認知症を発症した場合、徐々に認知機能が低下していきます。しかし、早期発見・早期治療により進行を遅らせることが可能です。

高齢者人口と認知症患者の増加

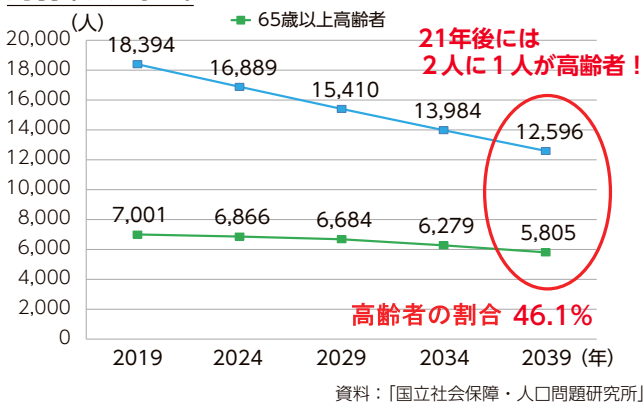
超高齢社会を迎え、鳥羽市の高齢者人口は今後増加が見込まれています。国は、将来的に65歳以上の3人に1人が認知症患者とその予備軍になると推計しています。それにより、今後は鳥羽市の認知症患者も増加すると考えられています。



年代別認知症出現率



鳥羽市人口推計



認知症の症状について

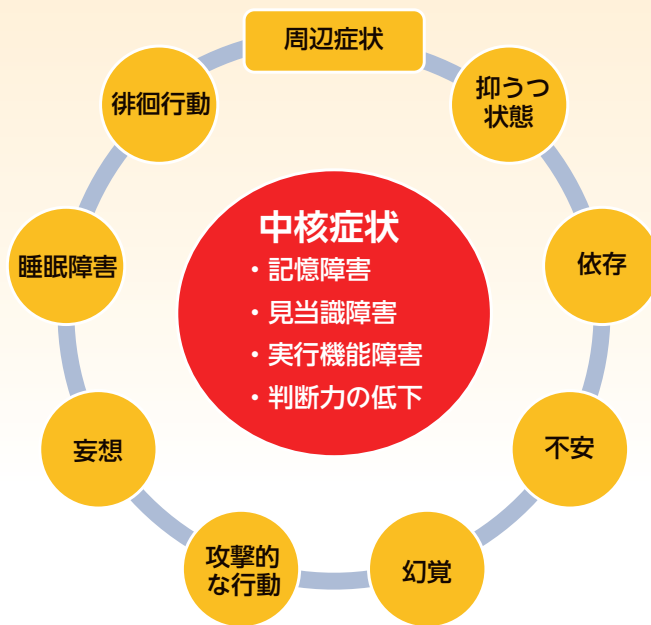
認知症は、人によって現れる症状が違います。症状には中核症状と周辺症状があります。中核症状を改善することは難しいですが、周辺症状は薬や対応の仕方などで改善できる可能性があります。



認知症のかたは何も分からなくなる？

認知症のかたは、何もかも分からなくなっているわけではありません。否定したり子ども扱いしたりすると自尊心が傷つきます。脳の機能が低下しても、感情を感じる部分は長く機能し続けるため、不快な思いや恐怖などといった負の感情や、反対に嬉しい、楽しいといった正の感情は覚えています。

認知症の中核症状と周辺症状の例



認知症のかたへの接し方

認知症のかたに接するとき
は、自尊心を傷つけず、安心
感が持てるよう笑顔で話し掛
けましょう。また、たくさん
の情報一度に伝えると混乱
するので、相手の正面から簡
潔にゆっくり話すようにしま
しょう。

徘徊について

認知症が進行すると、人によつては徘徊行動が見られる
場合があります。この場合、
本人は目的があつて歩いてい
ることが多いですが、途中で
自宅が分からなくなり、行方
不明になることがあります。
行方不明になると、高齢者自
身が危険にさらされるほか、
家族などへの心身の負担は大
きなものになります。

見守りの目を増やす

認知症のかたに限らず、高
齢者の見守りには地域のみな
さんの協力が重要です。より
安心・安全な鳥羽のまちづく
りのため、気になる高齢者を
見掛けたら、優しく声掛けを
することや、行政機関へ連絡
するなどのご協力をお願いします。

6月1日(金)より受け付けを開始します

見守りシール交付

QRコード付きの見守りシールを無料で配布します。QRコードを読み取ると、行方不明者捜索専用のインターネット掲示板に接続でき、行方不明者の早期発見につながります。

対象者

- おおむね 65 歳以上のかた
- 40 歳以上 65 歳未満で介護認定を持つかたのうち、認知症による徘徊が認められるかた
- そのほか市長が認めるかた

申請先

- 健康福祉課
地域包括支援センター
- 市民課
- 各連絡所



見守りシール
※ QRコードを読み取ることが
できます。

位置情報検索システム (GPS) 助成金

GPS 機器および附属品の購入費や、新規契約に必要な加入料および登録手数料を助成します。

対象者

- 65 歳以上で、認知症による徘徊が認められるかた
- 40 歳以上 65 歳未満で介護認定を持つかたのうち、認知症による徘徊が認められるかた
- そのほか市長が認めるかた

助成額

上限 2 万円まで (対象者 1 人につき 1 回まで)
※ 月々の使用料や検索費用などは利用者負担です。

申請先

- 健康福祉課 高齢・障害係
- 市民課
- 各連絡所



認知症講演会 ～認知症を知ろう～

認知症は誰もがなり得る可能性のある病気です。他人事とせず、知ってみる機会を持ちませんか。

今回、認知症にまつわる映画上映と講演会を開催します。

- と き** 6月10日(日) 午後1時30分～4時
と ころ 保健福祉センターひだまり2階・ひだまりホール
映画内容 妻の病～レビー小体型認知症～
講 師 三重県立志摩病院 精神科部長 松山 明道 氏
共 催 エーザイ株式会社
参 加 費 無料
申込方法 6月8日(金)までに健康福祉課地域包括支援センターへ申し込んでください。

